

2022年度 三重県山岳・スポーツライミング連盟 各代表選考基準について

2022年3月23日
三重県山岳・スポーツライミング連盟

国民体育大会三重県代表選手（以下、国体選手）、チームみえジュニア強化選手（以下、ジュニア強化選手）、ユース大会出場における優先順位（以下、ユース優先順位選手）は以下のとおり選考するものとする。

選考条件

- ①三重県山岳・スポーツライミング連盟の会員であること。
- ②国体選手、ユース優先順位選手は、2022年度日本山岳スポーツライミング連盟（以下、JMSCA）の選手登録を済ませた者であること。
- ③国体選手、ユース優先順位選手は、参加を希望する大会の参加資格に準じた者であること。
- ④ジュニア強化選手は、小学5年生から中学3年生まで。少年種別 国体選手も兼ねることが出来る。
- ⑤ジュニア強化選手においては三重県内に在住または在学していること。

選考人数

- ①国体選手は、正選手 各種別2名とする。（補欠選手は各種別1名を選考できることとする。）
- ②ジュニア強化選手は 2022年度において小学5年生から中学3年生である者。最大8名までとする。
- ③ユース優先順位選手 以下の選考方法より最大8名、優先順位リストを作成する。

選考大会

三重県山岳・スポーツライミング連盟が開催する予選会

選考方法

2022年度は 2022年4/2(土) リード競技 及び 2022年4/3 (日) ボルダリング競技に参加すること。
下記（1）から順に優先的に該当する選手を選考する。

【三重県代表国体選手】

- （1）日本スポーツ協会が定める特例措置（トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置）の対象となる者。
- （2）上記選考大会の期間中に、JMSCAから派遣される国際大会への出場が重複した者。
新型コロナウイルス感染症による14日間の帰国者待機期間（14日間）も含む。
- （3）上記選考大会の成績上位の者（リード、ボルダリングの二種目に参加すること）で、両大会の順位の積算で数字の少ない者。
両大会の順位の積算が等しい場合は、以下の通り順位を決定する。
（成年） 2021年度JMSCA主催のボルダリングジャパンカップ、リードジャパンカップの順位の積算で数字の少ない者。
両大会に出場したものを優先する。
（少年） 以下の決定方法で順に当該選手が決定するまで選考する。
 - JMSCA主催の2022年開催ボルダリングジャパンカップ及びリードジャパンカップの順位の積算で数字の少ない者。
 - 2021年度JMSCA主催のユース大会のカテゴリー順位をすべて積算し、その数字の少ない者。（第9回リードユース日本選手権南砺大会、第7回ボルダリングユース日本選手権葛飾大会）
上記大会のうち一方を出場していない場合は、該当カテゴリー内での最下位順位を掛け合わせた数字を利用する。

【チームみえジュニア強化選手】

- （1）2022年開催 JMSCA主催大会（リードジャパンカップ、ボルダリングジャパンカップ）において準決勝に残ったもの。
- （2）2021年度 JMSCA主催ユース大会において決勝に残ったもの。
- （3）上記三重県予選会において、（1）（2）に該当する選手を除き年齢別カテゴリー1位の選手
- （4）小学6年生の選手については、2021年小学生ボルダリング競技大会及びリード競技大会など年齢別カテゴリーが設定された全国規模の大会で決勝に進出した者。

【ユース大会における優先順位選手の決定方法（JMSCA優先選手以外の者）】

- （1）上記三重県予選のうちユース大会リード競技については県予選リード競技を
ユース大会ボルダリング競技については県予選ボルダリング競技を選考大会とする。
- （2）年齢別カテゴリーにおいて、1位を取ったもののうち、ジュニア→ユースA→ユースB→ユースCの順で決定する。

代表選手の最終的な選考においては選考委員会で協議の上、決定する。

* ※傷病、学校行事等で選考大会に参加できなかった選手について、その理由を判断し、
2020～2021年度の公式大会で優秀な実績のある者は選考対象とすることもある。

選考決定日

県予選会が開催されたのち、速やかに各代表選手を選考、決定し該当選手に連絡する。

2022年度 三重県山岳・スポーツライミング連盟